

平成18年度予算審査特別委員会が3月13日から15日間の3日間にわたり開催され、一般会計から水道事業会計までの10会計の新年度の予算について活発な審議を行った。予算審査の過程の中で、各委員から質問のあった事項を、要約して掲載します。

質疑の主な内容

【一般会計歳出】

コンビニ収納の取り組みは

は何か所になるのか。

▲全国の主要なコンビニエンスストア14社、系列を含めると22社になり、北海道内のコンビニエンスストアの全部が該当する。

職員研修の今後のあり方は

Q 今後のまちづくりを進める上で、職員研修は重要な役割を持つ。今後の研修のあり方は。

▲職員研修には、自主研修、職場内研修、職場外研修、特別研修がある。

自主研修は、職員の自発的な研修計画に基づく研修である。

職場内研修は、所属課や係ごとに通常の事務事業に係わる制度上の勉強を行う

ものである。

職場外研修は、各研修機関に派遣し、法制に係わる研修、政策能力を高める研修、管理能力を高める研修などを実施している。

特別研修は、国や道に派遣し、広い視野を養う研修を行っている。

今後、職員の資質向上に努めたい。

町長公用車の廃止の考えは

Q 経費削減の意味で町長公用車を廃止する町村が増えている。幕別町の今後の考えは。

▲現在のところ廃止の考えはないが、今後の課題として、財政状況を考慮し検討したい。

ひまわりの家の今後の

方向性は

Q 障害者自立支援法の施行により、ひまわりの家は法人格を持たなければ補助の

対象にならない。今後の方向性は。

▲現在、法人格を取得することで、準備を進めている。順調にいけば、7月から8月ごろに法人格を取得する見込みである。



ひまわりの家

常設保育所の保育時間延長

Q 保育時間を15分間延長することに、どのくらいの利用が見込めるのか。

▲保育時間を午後6時15分から午後6時30分まで延長することで約95人の利用があると見込んでいる。

ごみの不法投棄に対する取り組みは

Q ごみ有料化になり1年以上経つが、ごみの不法投棄がなくならない。

不法投棄に対する取り組みは。

▲ごみの分別パトロールと、不法投棄のパトロールを行っている。今後もそれらを強化していく。

道でも夜間のパトロールをはじめた。それらと連携をとりながら、今後も対応したい。



町内の不法投棄の現場

マッピングの進捗状況は

Q 農地の流動化などを把握するためのマッピングが進められているが、現在の進捗状況は。

▲農地地図情報システムは、



上空から見た「幕別ダム」

7つのシステムからなり、農業委員会が所管する農地基本台帳は、マッピング化がすべて終了している。土壌診断や、農作物に係わる内容については、モデル地区を選定するなど、利用しやすいように精査し、18年度中に入力する。

幕別ダムについて

Q 幕別ダムが、今年より国の管理から町の管理となるがどのように管理をしていくのか。

▲4月から11月は、操作員1名、週5日、12月から3月は週1日間、ダムに詳しい専門の知識があるところに委託をし管理する。

4月から11月は週2日間は委託から外れ、町の職員が管理事務所に出向き管理する。

新規就農支援の状況は

Q 新規就農支援に係わるアカデミー事業の状況は。

A 平成8年にアカデミーの制度ができ、これまでに7組8名が新規就農をしている。平成18年度は忠類地区で1名が新規就農を予定している。

平成8年から平成16年までに、40名が参加し、8名が新規就農し、5名が研修中で、27名がリタイヤした。今後も全員が就農できるように、関係機関とも協力していきたい。

火災報知機の設置

Q 平成18年6月より住宅用火災報知機の設置が義務付けられるが、公営住宅への設置はどのように考えているのか。

A 一般の住宅に対し、設置の指導と補助の考えは。

A 公営住宅の設置については、緩和措置がとられており、平成19年以降に設置を考えている。

今回、新たに建設する旭町東団地については、設置をする。

新たに建設する一般住宅

については、設置の指導を行っている。

補助については、国の動向をみながら、今後検討したい。

高規格救急車の配置

Q 忠類地区に配置された、高規格救急車の守備範囲と近隣町村との連携は

A 忠類地区から中里地区までを守備範囲とし、近隣町村との連携については、これまで同様に、応援協定に基づき連携を図りたい。

オストメイト用トイレ

Q 農業者トイレニングセンターに設置するオストメイト用トイレについて、オストメイトの方の人数とトイレニングセンターへの設置理由は。

A 大腸や膀胱の手術を受けて、人工肛門や人工膀胱を使用する方が札内地区で35人、幕別地区で11人、忠類地区で2人いる。

そのような方々が、利用できるトイレを、今回農業者トイレニングセンターに設置する。

身体障害者団体の方から

の要望も頂き、他の市町村の設置状況を考慮し十勝管内全体で拠点ごとに設置する考えで、農業者トイレニングセンターに配置することとした。

AED（自動対外式除細動器）の配置状況は

Q 教育委員会に寄贈されたAED（自動対外式除細動器）の設置状況と講習について伺う。

A 寄付を頂いた除細動器12台と平成17年度購入した1台の13台については平成17年度に幕別地域の学校13校に配置した。忠類地域の2校については平成18年度予算で対応する。

操作についての講習は、各学校の代表が消防職員を



AED（自動対外式除細動器）

講師に3時間以上かけて行うとともに、各学校でも消防職員が出向き講習を行う。

国際交流員の配置

Q 合併に伴い、国際交流員が2名となったが、今後の活動方針は。

A 国際交流員2名の業務割り振りを見直し忠類地区の国際交流員が札内地区の中学校1校を担当して頂く計画である。

幕別地区の国際交流員には余裕ができた時間を小学校への指導を増やすなど考えている。

【一般会計歳入】

税制改革による影響は
Q 国の税制改革による町民への影響は。

A 税制改正による幕別町民全体の影響額は、高齢者控除廃止の影響が、1,711万円、定率減税の率が変ることによる影響が、5,191万円、国民健康保険税にも影響がでる。

公営住宅料や保育料に影響がでる。

※質疑は主なものを掲載しています。

平成18年度予算歳出額

会計名	予算額(億円)	
一般会計	156.98	
特別会計	国民健康保険	27.52
	老人保健	30.48
	介護保険	13.80
	簡易水道	6.03
	公共下水道	15.68
	公共用地取得	0.38
	個別配水処理	1.74
農業集落排水	1.07	
水道事業会計	11.97	
計	265.65	
※町民一人当たり	約96.7万円	